

令和元年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）</p>
--	---	--

子どもたちの回答が昨年度に比べ、「3」「4」と回答している割合が増えている（問1：97%。問2：98%）。「特別な教科道徳」の新設と共に、本校でも毎時間の道徳の授業を核とした道徳教育に力を入れてきたこと、また、一貫して本校で取り組んできた「児童理解」を核にした学級経営やVS活動など豊かな体験活動の成果だと考えられる。しかし、「1」「2」と回答している保護者や子どももわずかながら見られることから、今後、一層、豊かな心の教育の推進に取り組んでいく。

②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
---	--	---

「授業はわかりやすいか」という問いにおいて、「3」「4」の子ども回答が昨年度の87%を大きく上回り93%となっている。本校は、子どもたちの対話を中心とした授業づくりの研究を研究部長を中心に進め、日ごろの授業改革に努めてきている成果だと考える。しかし、「ICTを活用したわかりやすい授業づくり」に関しては、約2割の子どもたちが「1」「2」と回答している。「意欲的な授業への取組」においても、子ども12パーセント、保護者16パーセントが「1」「2」と回答していることから、益々、ICTを効果的に活用した授業改善を今後、研究の中心に据えて取り組む必要がある。

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

この項目は、昨年度と比べ「3」「4」の回答率が少し高まってきているものの、3者とも低い評価である。家庭と連携した生活習慣づくりの取組をさらに工夫し具体的に進める必要がある。

<h3 style="text-align: center;">①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3> <h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	

「児童生徒理解」「いじめ問題への対応」における「3」「4」と回答した子どもは、昨年度より3～6%上昇している。児童理解朝会や人権教育研修、ケース会議など、計画的または必要に応じた一人一人を大切にされた取組を積み重ねてきた成果だと考える。しかしながら、いじめ問題や特別支援教育推進における保護者の評価は「1」「2」の回答が保護者に増えている。この結果を真摯に受け止め、今後、より家庭と連携した情報の共有、専門機関を巻き込んだ対応にさらに取り組んでいく必要がある。

<h3 style="text-align: center;">①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3> <h4>11 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h3 style="text-align: center;">②最適な学習環境の整備</h3> <h4>12 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
--	---

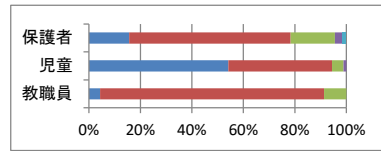
子どもの「3」「4」の回答が昨年度より3ポイント上昇している。昨年同様に6月に実施した児童引き渡し訓練、PTA主催の防災訓練をはじめ、防犯協会や交通安全協会による見回りや安全指導など、地域の見守りも大きく影響していると考えられる。

全体的に昨年度より下がっているが、昨年度まで改善できなかった東校舎屋上の雨漏り修理や給食室横舗装を行った。また、すべての階段の両サイドの手すり取付や老木の撤去など本年度中に行う予定である。給食室屋根は設計まで終わっており次年度改善されること決まっている。

③家庭・地域社会との連携強化

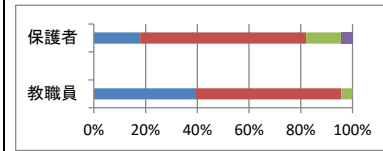
13 教育方針・目標の理解

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

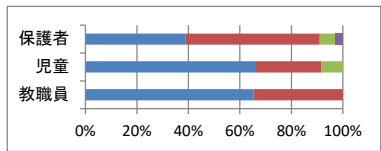


子どもの「3」「4」回答は昨年度より3ポイント上昇したものの、保護者や教職員のの評価は低かった。教育目標や方針については、PTA総会や地域の会議、学校便り（HP）等で周知を図ってきた。児童については、各集会等で丁寧に話をしたり担任を通じて詳しく伝えたりすることができた。しかし、地域の行事やPTA活動については、教職員の参加が少ない。今後、さらに教職員の参加を呼びかけていく。

⑧本校の教育

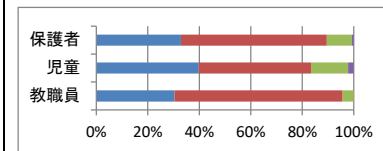
15 1

子どもたちが安心して過ごせる学校になるように取り組んでいますか。



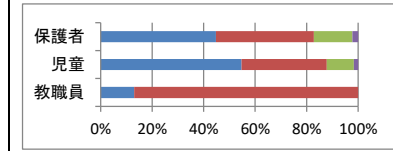
16 2

全ての授業で、子どもたちが、友達の意見を聴いたり、自分の考えを伝えたりして学び合う時間（場）を設定していますか。



17 3

子どもたちは進んで運動に親んでいますか。



「進んで運動に親んでいますか」の項目は、昨年度に比べ3者とも評価が高くなっている。特に子どもは5ポイントの上昇であった。始業前、休み時間等、教師と一緒に外で子どもと遊ぶ姿があり、子どもたちが体を楽しく動かす楽しさを実感している。今後も子どもと日常的に体を動かして過ごす時間を大切にしていこう。
授業における「学び合い」においては、教職員が9ポイント上昇したものの、子どもの回答がマイナス1ポイントであり17%の子どもたちが学び合いを実感していないことがわかる。場の設定のみならず、子どもの実感を大切に授業改革を今後も行っていく必要がある。

来年度の具体的な取り組みについて

- 教育目標方針については、さらに分かりやすく、学級・学校便り、PTA新聞、諸団体会合、学校ホームページなどあらゆる機会を通して情報発信を行う。
- 次年度から新学習指導要領の全面实施に向け、本年度から諸計画や教材の準備に取り掛かりスムーズな移行へとつなげるようにする。また、校内研修の軸に効果的にICTを活用した授業改善を置き、教師同士の学び合いの時間を確保したり、最先端の情報収集に努めたりして研修の充実に努め、授業力向上を図るようにする。
- 全国標準学力調査（NRT調査）を受けて、より児童の学力を分析し、きめ細かな指導の工夫改善に努めていく。
- 今後とも、人権教育、特別支援教育の推進に向けて、児童理解朝会やケース会議など、校内の支援体制の見直しと共に、専門家を交えたケース会議・連携した支援体制の充実に努め、一人一人を大切に実践的な取組を行うようにする。
- 校舎の老朽化において不備が生じている箇所については、教育委員会に申請し改善していく。また、高い樹木が多いため、落ち葉や枯れ葉等で学校周辺に落ちていることが多く、教育委員会と相談し改善を図っていく。
- 来年度より、すべての運動部活動が社会体育となり、地域や諸団体に委ねることになるので、施設の利用については協力していきたい。
- 「早寝、早起き、朝ご飯」の推進とともに、45分間の昼休み時間を有効に生かし、外遊びを推奨し、児童の体力向上を図る。また、食事・運動・睡眠（休養）のバランスを大切に、基本的な生活習慣の確立を保護者や中学校と連携して取り組む。

学校関係者評価

- 公開所業や音楽会などの学校行事を通して、子どもたちが楽しく学校生活を送っていることがよく伝わってくる。学校教育目標では、保護者・子ども・教職員の「3」「4」の回答の割合が昨年度と同様に高いが、特に子どもたちの回答評価が高くなっていることは嬉しいことである。今後も、子どもの学びの実感、友達と楽しく過ごすという実感を大切にほしい。
- 「ICTを活用した授業」においては、これまでにない授業改革だと思う。先生方のご苦労も多いと思うが、社会の変化に対応した教育力の向上に今後も努めてほしい。
- 健康教育、安全では日頃の体力向上の取組が生きていると思う。今後の子どもたちの活動につなげてほしい。防犯、安全面においては、今後も地域で協力していきたい。